

# 第7回 青森県総合教育会議

日時：平成30年2月15日(木)11:00～

場所：青森県庁南棟2階 第三応接室

## 次 第

1 開 会

2 知事あいさつ

3 議 事

「本県特別支援教育の今後の方向性について」

(1) 概要説明（学校教育課長）

(2) 意見交換

4 閉 会

# 第7回青森県総合教育会議

本県特別支援教育の  
今後の方向性について

平成30年2月15日

# 特別支援教育におけるこれまでの取組

学校教育法の改正による、特殊教育から特別支援教育への転換（H19）

## 青森県立特別支援学校教育推進プラン（H23～28）

- 基本方針 1 複数の障害種別に対応した教育の充実  
【森田養護、七戸養護、むつ養護学校への肢体不自由部門の整備等】
- 基本方針 2 学校規模が大きい特別支援学校の学習環境の充実  
【八戸高等支援学校の開校等】
- 基本方針 3 高等部教育の充実  
【弘前第一養護、黒石養護学校高等部普通科への職業コース設置等】
- 基本方針 4 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実  
【盲・聾学校への相談支援センターの設置等】

推進プランの実施と併せ、特別支援教育の充実に関連する取組も実施

- 特別支援学校生徒等への就労支援
- 発達障害のある児童生徒への対応
- 教職員の専門性の向上
- 学びの保障などの教育環境の充実
- 給食の実施、スクールバスの配置促進
- など



八戸高等支援学校開校式



店舗での就業体験



森田養護学校のスクールバス

## 国の情勢変化

- H24 中央教育審議会初等中等教育分科会報告  
「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」  
【共生社会の形成、就学相談・就学先決定の在り方等】
- H25 学校教育法施行令改正  
【就学先を決定する仕組みの見直し等】
- H28 障害者差別解消法施行  
【公的機関における合理的配慮の提供等の義務化】
- H29 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の改訂

### 【教育内容等の改善事項】

- ✓ 学びの連続性を重視した対応
- ✓ 一人一人に応じた指導の充実
- ✓ 自立と社会参加に向けた教育の充実

# 特別支援学校における取組状況

## ①交流及び共同学習の状況（小・中・高等学校との交流、地域との交流）

年度	H24	・・・	H28
学校間交流	19校 89事例	・・・	19校 71事例
居住地校交流	6校 12事例	・・・	13校 42事例
地域との交流	12校 20事例	・・・	14校 22事例

### <交流及び共同学習>

障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が学校教育の一環として活動を共にすること

### <居住地校交流>

特別支援学校に在籍する児童生徒と、その児童生徒が居住する地域の小・中学校とで行う交流及び共同学習

## ②特別支援学校のセンター的機能の充実に伴う相談件数の状況

盲・聾学校に支援拠点となる相談窓口を設置し、特別支援学校のセンター的機能を充実

年度	H24	・・・	H28
就学前	2,446回	・・・	2,670回
小学校・中学校	1,818回	・・・	1,956回
高等学校・一般	315回	・・・	460回

## ③特別支援学校高等部における卒業生数及び就職者数等の推移

年度	H24	・・・	H28
卒業生数	269人	・・・	292人
一般就労	70人 (26%)	・・・	116人 (40%)
卒業3年後の職場定着率	76.5%	・・・	87.6%
進学	17人 (6%)	・・・	13人 (4%)
福祉就労	182人 (68%)	・・・	163人 (56%)

## ④特別支援学校高等部における就労促進の取組

### 弘前第一養護、黒石養護学校高等部普通科への職業コース設置(H27～)

- 就業場面を想定し、実際の店舗等で体験を行う
- 校内に模擬会社を設置し、地域の中学校の特別支援学級とも連携しながら就労実習を行う

### 特別支援学校技能検定・発表会(H27～)

- 職業技能部門（清掃、接客サービス、PC入力）では級認定を実施
- コミュニケーション部門は全国初の試み

### 八戸高等支援学校の開校(H29～)

専門的職業スキルの獲得、職業に対する意識の向上  
就労への意欲の向上（モチベーションの維持）  
企業等の障害者雇用への理解啓発の促進 などの成果あり

# 小・中・高等学校における取組状況

## ①小・中学校の特別支援学級、通級による指導の児童生徒数

年度	H25	・・・	H29
特別支援学級	1,623	・・・	2,115
		1.3倍	
通級	534	・・・	630
		1.2倍	
特別支援学校	1,749	・・・	1,605

## ②小・中学校の特別支援教育支援員の配置状況

年度	H25	・・・	H29
小学校	290	・・・	400
中学校	97	・・・	143
合計	387	・・・	543

※H29からは、高校に3名配置

## ③発達障害のある児童生徒への対応

教育支援アドバイザー（退職校長等）が、全ての小・中学校を延べ866回訪問（H28～H29.9）  
教職員対象の研修会には846名が参加（H28）

## ④個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成率

H28	個別の教育支援計画			個別の指導計画		
特別支援学校	100%			100%		
	特別支援学級	通級による指導	通常学級	特別支援学級	通級による指導	通常学級
小学校 (全国平均)	95.9% (96.5%)	41.6% (70.5%)	28.2% (71.6%)	99.6% (99.0%)	68.4% (87.2%)	60.1% (81.8%)
中学校 (全国平均)	90.1% (95.8%)	63.6% (75.7%)	27.7% (62.0%)	99.3% (98.3%)	77.5% (84.4%)	33.0% (66.7%)
	全日制	定時制	全定併置	全日制	定時制	全定併置
高等学校 (全国平均)	28.6% (67.3%)	100.0% (69.2%)	50.0% (66.8%)	37.5% (78.1%)	100.0% (83.9%)	100.0% (78.6%)

※高等学校は、計画作成対象と想定される生徒がいない学校を除いた値

<個別の教育支援計画>

関係機関との連携を図り、就学から学校卒業まで一貫した支援を行うための長期的な計画

<個別の指導計画>

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、指導目標や指導内容・方法を盛り込んだ計画

## ⑤高等学校における通級による指導

大半の授業を通常の学級で受けつつ、障害による学習上・生活上の困難を主体的に改善・克服するため、H30より北斗高等学校で開始予定  
特別支援学校の自立活動に相当する指導を行う

# 特別支援教育の今後の方向性

## 小・中学校

1. 特別支援学校教諭免許状保有率の向上
2. 自立活動の専門性向上を図るための研修の充実

3. 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の確実な引継

## 高等学校

4. 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成率向上
5. 校内支援体制の充実

## 特別支援学校からの支援を充実させる

### 特別支援学校

6. 心のバリアフリーのための交流及び共同学習の推進
7. 教職員の専門性向上
8. 一般就労の拡大を目指したキャリア教育の充実

## 地域に開かれた特別支援学校を目指す

### 医療、福祉、労働等（知事部局等） ・ 地域社会

9. 個別の教育支援計画に基づく支援と連携
10. コミュニティ・スクールの導入
11. 障害者の生涯学習の振興

一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進